

令和7年度 自己評価

徳風幼稚園

1 本園の教育目標

教育方針

学校教育法の幼稚園教育要領に基づいた保育を行うとともに、仏教精神による情操の養成をはかり、豊かな生活経験を通して心身発達の育成につとめる。

目標

- 心のやさしい子ども・・・豊かな情操としつけ
- 体の丈夫な子ども・・・体力の増強と規律のある生活
- 考え深い子ども・・・気力と思考力

<宗教教育>

- 仏教教育を通じ、豊かな優しい心を育てる。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

安心・安全に活動に取り組み、近隣・地域の方々や保護者の方々に信頼されるよう努め1日1日丁寧に子どもたちと接する。

(1) 常に子どもたちの安全に心掛け行動し、観察を怠らない。

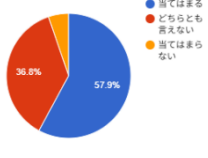
保護者の方と子どもたちの成長や課題を共通に理解しあうことができるよう努める。

(2) 不審者対応や災害時のマニュアルを徹底し訓練を行う。積極的に研修を受講し、教育の質の向上に努める。

3 評価項目の結果・反省・改善点

A…当てはまる B…どちらとも言えない C…当てはまらない

評価項目① 『幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解を図っているか』

結果 ・ 反省 ・ 改善	<ul style="list-style-type: none">・その日の出来事をその日のうちに情報収集し報告し合い、理解に努めている。 些細な情報を集めることで原因につながる可能性がある。・行事および活動の前に行動ややるべき作業だけでなく、ねらいや目標を周知し共通の理解を深めた上で取り組みを進めていくように努める。・学年ごとの教育課程の実施については、共通理解ができているように感じる。他学年については理解不足なところもあるので、共通理解ができるように努めていきたい。・連絡や情報が全員に伝わってこないこともあるため、共通理解に向け、全職員伝え漏れがないよう、努めていくことが必要だと思う。・普段からクラスの子どもの様子等を話し合い、共通理解を深めている。・教育目標や年間行事の内容等について、全教職員で共通理解を図るため、職員会議や打ち合わせを行っている。担当業務の都合により会議や打ち合わせ等に参加できない場合は、後日、説明を受けるなどして理解に努めている。	<p>結果</p>  <p>● 当てはまる ● どちらとも言えない ● 当てはまらない</p> <table border="1"><thead><tr><th>結果</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>当てはまる</td><td>57.9%</td></tr><tr><td>どちらとも言えない</td><td>36.6%</td></tr><tr><td>当てはまらない</td><td>5.5%</td></tr></tbody></table>	結果	割合	当てはまる	57.9%	どちらとも言えない	36.6%	当てはまらない	5.5%
結果	割合									
当てはまる	57.9%									
どちらとも言えない	36.6%									
当てはまらない	5.5%									

評価項目② 『重点目標に努めることができたか』

<p>結果 ・ 反省 ・ 改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と個別に対応する機会を多く設け、子どもたちの話もよく聞くようにした。トラブルをその日のうちに解決できるよう努めた。 ・地域の警察、消防、自衛隊と関係性を維持した。園外保育等で近隣の施設等に行き、地域との関係性を育むのも良いと思った。行事では来賓の方や地域の方と交流の機会を設けられた。 ・子どもたちの安全を最優先とし環境作りや定期的な環境設定の見直しなどをした。 ・怪我が起こりそうなリスクのある場については教員間で共有し安全策を考え実行した。 ・アレルギー、事故、怪我など、事後にヒヤリハットで全職員に周知し、改善策を提案したり、予防策を考えるようにしている。今後は、その後の経過も踏まえて改善策を見直し、さらに安心できる環境作りに努める。 ・子どもたち一人一人との関わりの機会を大事にした。保護者の方ともコミュニケーションをとれた。怪我や体調の変化、普段との様子の違いなど、子どもの様子で気がついた事があった時には教員同士・保護者への連絡報告を行った。 ・ヒヤリハット報告や、職員研修で学んだことを万一の際に速やかに対処できるようにしている。怪我やトラブルが起こりそうな際は子どもたちにも安全に過ごせるよう事前に声かけをして確認をするようにしている。 ・怪我が発生した際には、職員間で全体に周知するとともに、早急に安全対策を検討し対応している。日々の安全点検を実施し、改善が必要な箇所への対応を行っている。 	<p>結果</p> <p>● 当てはまる ● どちらとも ● 当てはまらない</p>
-------------------------------------	--	--

評価項目③ 『常に子どもたちの安全に心掛け行動し、観察を怠らず、保護者と子どもたちの成長や課題を共に理解しあうことができるよう努めたか』

<p>結果 ・ 反省 ・ 改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの保護者と対応し問題解決を目指した。 ・子どもたちの行動観察を強化し、子ども同士で解決できるよう援助した。 ・個人面談や降園時に成長や課題を伝えることで、家庭での様子と共に理解する機会を設けた。 ・保護者の方が、小さなことでも安心して相談できる雰囲気作りに努め、信頼関係を築いていきたい。 ・子どもの小さな変化も職員間で共有し、個々の発達に応じた援助ができるようにしている。 ・教員同士、積極的にコミュニケーションを図り、情報交換を行いながら、保育中に発生した小さな出来事や体調の変化などについて、丁寧に保護者に伝え、共有できるよう努めている。 	<p>結果</p> <p>● 当てはまる ● どちらとも ● 当てはまらない</p>
-------------------------------------	--	--

評価項目④ 『不審者対応や災害時のマニュアルを徹底し訓練を行い、積極的に研修を受講し、教育の質の向上に努めたか』

<p>結果 ・ 反省 ・ 改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書物などで専門知識を深め、教育関係者と意見交換した。 ・研修内容を教員間で共有できた機会が少なく、自分の保育を見直すに留まってしまったので改善したい。 ・気がついた事を共有し必要に応じて対応を変えるようにしていった。今後も安全な保育に努められるように考えていきたい。 ・繰り返し行う訓練のなかで、子どもたちは落ち着いて行動する経験を積み重ね、慌てずに参加しているように感じる。また、訓練後は反省や改善点を全職員で共有している。 ・不審者対応や災害時のマニュアルを頭に入れておき、臨機応変にも対応できるようにパターンで訓練していきたい。 ・今年度も様々な研修を受講し、そこで学んだ事は、どれも教育の質の向上に役立っていると思う。しかし、不審者対応や災害時については、訓練と実際とは想定外の事なども発生する可能性があるため、実際の時適切な対応ができるよう、いろいろな状況を想定し、これからも訓練を繰り返していく必要があると思う。 	<p>結果</p> <p>● 当てはまる ● どちらとも ● 当てはまらない</p>
-------------------------------------	--	--

【年間を通した研修内容 ※全教員参加の内容のみ】	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の視点を活かした地域・教育委員会・小学校などとの連携 ・調査からわかる保護者とのコミュニケーションに必要なポイント ・幼児教育としての保育環境づくり～子どもが遊び込める玩具とは～ ・遊びが育つ保育～保育者が提案するクラス活動と遊び～ ・つながりを育む場づくり～保護者支援・子育て支援～ ・多様な子どもたちとともに保育する～一人ひとりの学びを評価するには～ ・子どもたちの健やかな食生活と育ちのために～食育・食のQ&A～ ・心に伝わるコミュニケーション～子どもの主体性・大人同士のかかわりを考える～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・園経営の未来を見る ～キーワードで考える園経営～ ・保健計画の作成と活用 ・子どもの急変時の対応 ・自己肯定感の器を育む ・AED・心肺蘇生法 (浅草消防署) (東京防災救急協会指導員)

評価項目⑤ 『教育活動にやりがいを感じているか』

結果 ・ 反省 ・ 改善	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察や確実な情報収集、適切な言葉かけ(会話能力の促進・感情表現の表出)を行うことで、目の前の子どもたちが日々成長していく姿が実感できている。今後も自己の感性を磨く努力を怠らない。 ・子どもたちの『やりたい』に寄り添いながら、保護者とともに子どもたちの成長に携われることはやりがいに感じる。行事を通して一つのことをやり遂げることも同様である。 ・保育者の働きかけにより子どもが様々な色をつけていくことに面白さを感じる。多様性といわれている現代だからこそ、もっと教育の専門性を磨き、自分も柔軟に多様化していきたいと思う。 ・身体がすくすくと大きくなっていくことだけでなく、行事や日々の生活を通じて、心が成長した場面に出会えた時には大きな喜びを感じる。大人の手を借りず、子どもたちが自分たちの力を信じて、問題を解決しようと力を合わせている時にもとてもやりがいを感じる。 ・日々の園生活のなかで、できなかったことができるようになった、運動会や発表会などで、クラスの友達と協力して何かを成し遂げた時に大きな成長や喜びを感じる。その瞬間を一緒に共有し合える。 ・年齢や個々の子どもに合わせた支援や活動の工夫が必要な場面もあり模索したい。園の教育方針を取り込みながら子どもたち一人ひとりが安全・安心した環境の中で過ごせるように充実させていきたい。 	<p>結果</p> <p>● 当てはまる ● どちらとも 言えない</p> <p>94.7%</p>
--------------------------	--	--

評価項目⑥ 『長期的な計画を立てて保育をしているか』

結果 ・ 反省 ・ 改善	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの状況を把握し、発達段階に則した内容で興味、関心を加味して質の高い教育内容を目指す。 ・毎学期末や年度末の姿を想像して立てるが、子どもたちの様子や環境により変更することも必要だと考える。 ・異年齢児が室内でも主体的に遊びを進めていける様に様々な教材を用意する。異年齢児保育でも、長期的な子供達の成長の姿を予測しながら保育を進めたい。 ・学年だけではなく見通しを持って縦割り等の活動を行うことがあると思う ・来年度の進級のことなどを踏まえて長期的に考えているつもりだが、目先のことを優先してしまう。年間や行事計画のねらいだけでなく日々のねらいも明確にするとさらによいと感じる。年間を通して計画を立て成長してほしい姿を考えるよう努力している。 ・子どもの変化に応じた、活動の柔軟な展開や子どもの姿、実態を把握し、保育計画の振り返りを大切にしていきたい。 ・日々の保育の中では子どもたちの主体性を大切にしつつ、安全・安心に過ごせるよう努めた。長期的な計画をしっかり把握した上で保育を進めるとともに、引き続き安全に配慮した保育の実施に努めた。 	<p>結果</p> <p>● どちらとも 言えない ● 当てはまる ● 当てはまら ない</p> <p>57.9%</p> <p>31.6%</p>
--------------------------	---	--

4 自己評価の総合結果

本年度の重点目標に対しては、概ね達成できた。

(1) に対しては常に子どもたちの安全に心掛け行動し、保護者の方と子どもたちの成長や課題を共有していた。

(2) に対しては不審者対応や災害時のマニュアルを基に訓練を行っている。

様々な研修を受講し教育の質の向上に努めている。

5 本年度の重点目標に対して、今後取り組むべき課題

- ・目的のある長期的計画を立てる。子どもたちの状況に合わせて柔軟に計画する。
- ・教員間の報告・連絡を密に行う。
- ・様々な状況を考慮した訓練を行い、安全対策を強化させる。
- ・研修内容を共有し、更なる教育の質の向上を目指す。

施設関係者評価

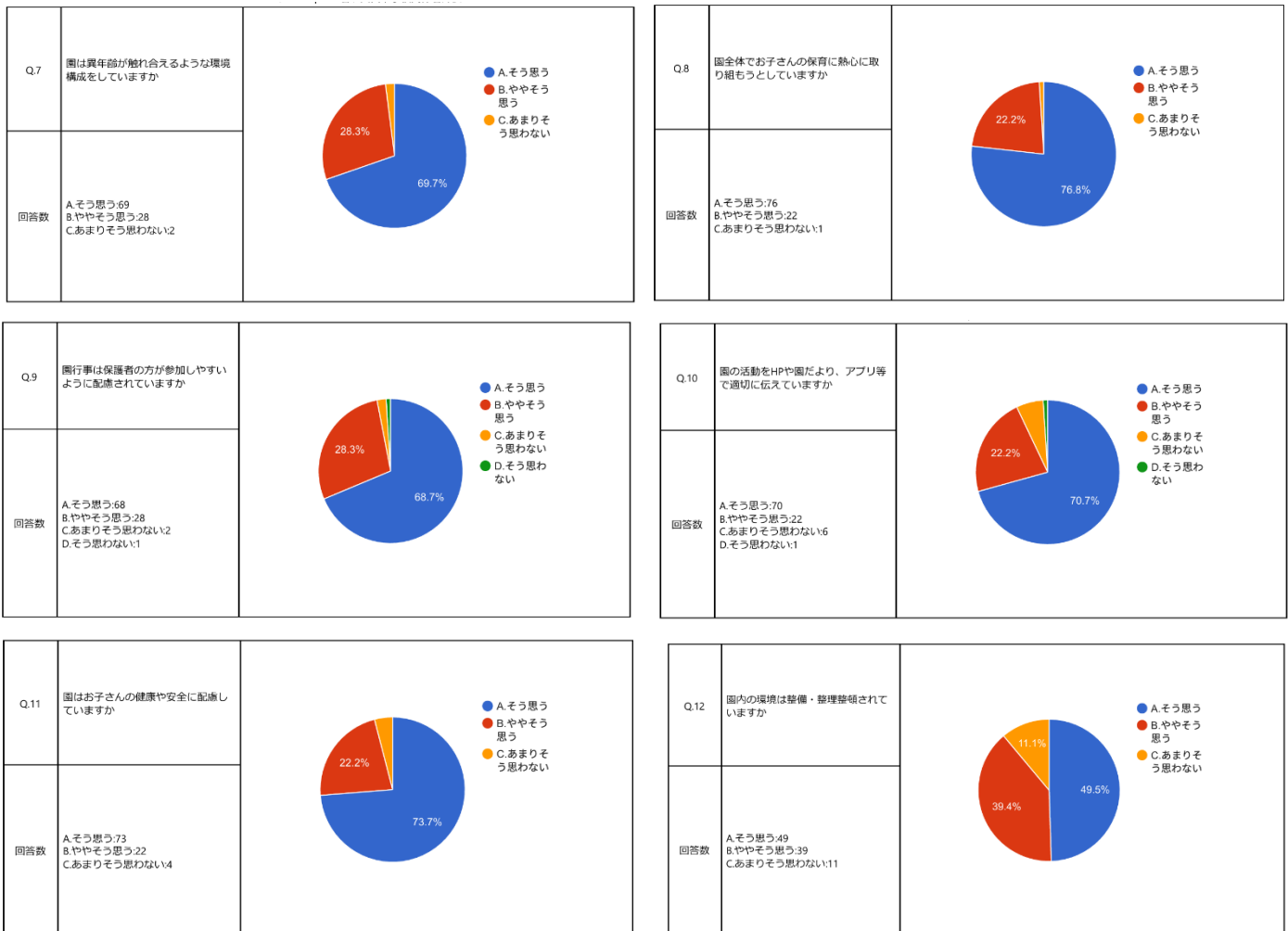
1 保護者評価結果

幼稚園から保護者（2025年度在園）へアンケート調査を実施した。

アンケート調査の解答率は90%で昨年度よりも多くの方が協力してくださった。

アンケート調査にご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。下記にアンケート結果とアンケート結果を踏まえて今後の改善点・評価を公表させていただいております。（ご意見としていただいたものは一部抜粋・表現を一部修正しており、同意見はまとめさせていただいております。）

Q.1	お子さんは幼稚園に楽しく通えていますか	
回答数	A. そう思う:82 B. ややそう思う:17	
Q.2	園は教育方針やお子さんの様子を伝えていきますか	
回答数	A. そう思う:63 B. ややそう思う:31 C. あまりそう思わない:5	
Q.3	園はお子さんの発達段階や興味・関心に応じた保育を行っていますか	
回答数	A. そう思う:78 B. ややそう思う:20 C. あまりそう思わない:1	
Q.4	園は基本的な生活習慣や紙、集団に必要なきまり等を指導していますか	
回答数	A. そう思う:82 B. ややそう思う:16 C. あまりそう思わない:1	
Q.5	園は一人ひとりの個性を大切に、意欲や自信を持たせていますか	
回答数	A. そう思う:70 B. ややそう思う:25 C. あまりそう思わない:4	
Q.6	園は遊びを中心に自然や社会と関わる体験を取り入れていますか	
回答数	A. そう思う:69 B. ややそう思う:28 C. あまりそう思わない:2	



保護者からの意見

- ・幼稚園でいろんな事を覚えてきて日々成長を感じている。先生たちの事も大好きなようで毎日楽しく通えている。
- ・成長した姿を一緒によろこんでもらえることが親の励みになっている。
- ・ひとりひとりの子をしっかり見てくださっている。心強く感じる。幼稚園でのさまざまな経験が、大きな成長につながっているのので、今後も引き続き、良い刺激をたくさん受けてほしい。徳風幼稚園に通わせてよかったと思っている。
- ・幼稚園で教えてもらった季節の歌や踊り、折り紙を家でも披露してくれるたびに成長に驚いている。
- ・自宅ではできない経験をさせてもらい、子どもも親も喜んでいる。園外保育は、親 1 人では連れて行くのが難しい場所にも連れて行ってもらえるので、子どもたちも楽しそう。
- ・子どもが入園時に比べて表情が明るくなり、会話もできるようになった。お友だちの名前が出てくるようになったので安心している。楽しいと言いながら通園している。些細な変化なども含めて共有してほしい。
- ・時代に合わせた変化を見てきて、その都度、先生方がよく考えて、対応してくれている。
- ・担任だけでなく、事務の方、バスの運転手さん、園に関わる人みんなが園児一人一人について答えられるほどに、みんなで園児を見守っていると感じる。とても丁寧に、我が子に携わってくれて感謝している。
- ・子供同士で何かトラブルがあった時、押しちゃった子や手が出ってしまった子の親に対してはちゃんと報告してるのか気になる。双方納得して親が話せる状況を造ってほしい。また、該当園児の担任以外の先生はどこまで情報交換しているのかも気になる。
- ・園だよりでやったことは共有しているが、学期や月単位での保育の目標や大事にしていることを前もって知らせてくれると家庭でもそれを意識して聞いたり、家でも取り組めたりできるから、嬉しい。
- ・園での様子をもう少し知りたい。
- ・役員やバザーがなくなって、誰かにやってもらっているという罪悪感や、いつかはやらなければならないのかという不安が

無かった。私はとても過ごしやすい1年だった。

- ・役員が無くなり楽になった部分は大いにあるが、徳風の良さ(行事等)がなくならないで欲しい。役員の人パワーが足りなくなった部分は出来る範囲でのお手伝いを募ることや子どもの為であれば多少のお金を出しても良いという親はたくさんいると思う。働く人が預けやすい環境は整ってきているが、先生方の負担が増えすぎたり、それによって行事がなくなったりしないでほしい。
- ・預かり保育も拡充したおかげで仕事をしている者としても助かっている。ただ幼稚園ならではの参観や園での行事ごとが減ってしまったのは残念。バザーも準備が大変なのは重々承知の上、敬老参観が(祖父母が見る機会)なくなったのは寂しかった。
- ・昨年度よりも預かってもらえる日数や時間数が増えてありがたかった。働いている身としてはとても助かる。
- ・通常の預かり保育で、子どもも楽しんでいる。お迎えの時にDVDを見ている時があり、帰るのを送ることもあった。先生が忙しい時を除き、可能なら普通の遊びをして欲しい。
- ・にじ組に預けた際に、先生の見送りが靴箱までの時と、出口までの時があり、靴箱までだと挨拶しか出来ないのも虹組でどのように過ごしたか教えて欲しい。ただマンパワーやにじ組の人数によって難しい事情も理解している。
- ・全学年一緒に遠足だとそれぞれの子ともゆっくり関わることが少し難しく感じるのも、親子遠足は学年ごとでの実施も検討してほしい。
- ・講堂での発表会のとき、前の回の兄弟関係の方々がどうしても優位になり、後に並んでいる方が良い席になれないことがある。前の回の方は撮影の方を除き残りの家族は前方にならないなど、配慮やルールを考えていただけたら嬉しい。生活発表会で年少がいつもより早い時間帯で集合、上の子が定時まで外で待機して登園できなかったのも大変だった。
- ・月のお便りや降園時に園の様子を教えてください、日々どのように過ごしているのかももう少し園での生活の様子がわかるツールがあると嬉しい。ご飯は食べれているのか、トイレはできたのか、お友達とどのように遊んでいるのか、どのような活動をしたのかなど、特に満3歳児、年少さんだと聞いても正確に答えることが難しいので、少しでも知れるとありがたい。
- ・保育参観の頻度や参観時間がもう少し増えると嬉しい。活動中だけでなく自由遊びの様子も見てみたい。
- ・給食費が補助金以内になっていないのに、毎週のお弁当は違和感がある。お弁当は園外遠足位になってくれたら嬉しい。
- ・給食業者をできれば変えてほしい。
- ・建物、炊事室や電気系統の老朽化による安全面に対して心配を感じる。
- ・ひかり組や満3歳児クラスがあるのは強みであると思うが、預かり保育料の高騰など他園と比較すると厳しい部分もあるので、他園と比較した時に際立つような(金銭的に少々高くても徳風が良いと思えるような)徳風ならではのわかりやすい良さや特色が増えたらと思う。
- ・境内で遊ばせないようにする仕組みが必要であると感じる。
- ・地震などの災害などの対応などが気になる。小学校は災害用に食品やアルミのシートなどを個々で作って預かってもらっている。

ご意見について

保護者の方々のご協力にいつも感謝しております。

大変貴重なご意見や嬉しいお言葉、ありがとうございました。

今後の運営と教育に活かしてまいります。

2 施設関係者評価

本年度は施設関係者委員の方々に運動会にお越しいただき、教育活動への発展のために意見・評価を受けた。

- ・子どもたちの顔が生き生きとしていて、とても素晴らしい。
- ・待機している子どもたちの落ち着いた様子が見え、普段の教育のあり方がよく見えた。
- ・練習を重ねたことが伝わり、子どもたちの頑張りに感動した。
- ・テンポの良いプログラムの進行には、年長の子どもたちが係り活動をしっかりと自発的に動いている賜物と感じた。
- ・Instagram等のSNSでの発信を多くなるように期待している。
- ・園児の落ち着きは日頃の教育活動の賜物だと思う。
- ・卒園児の出席者も多かった。良い思い出があることと職員の先生方の定着率にあると思う。
- ・園児が準備や片付けを行っていて、共感できた。
- ・演目にも様々な工夫があり、見ていて楽しかった。

台東区議会議員 拝野 健 様

台東区議会議員 中澤 史夫 様

本山 東本願寺 総代 瀧谷 幸弘 様

松葉小学校 PTA 会長 杉林 信吾 様

松葉小学校 PTA 顧問 川崎 常光 様